

エコパルなごや

夏号
VOL.71

かんきょうをたのしく学ぶ

とくしゅう
特集

理想的な持続可能社会

江戸時代の庶民の生活について考えよう

みなさんは、江戸時代の庶民はどのような生活をしていたのか知っていますか？

電気、水道、車もなく、スーパーもありませんでした。さぞかし不便な生活をしていたと想像します。

ところがしっかり工夫して、今より生活を楽しんでいたのかもしれない。

庶民の生活は自然に負担をかけるのではなく自然とともに生きていました。

現代と違って地球温暖化へ影響の少ない生活をしていました。

それでは、どんな生活だったか、みてみたいと思います。



いろいろな話題お届けします。

とくしゅう
特集

理想的な持続可能社会 江戸時代の庶民の生活について考えよう

エコパルNEWS

特別ワークショップ「自然木を使ったダックスフントづくり」など
エコ・クッキング教室、エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせなど
エコパルなごやでリユース家具の展示・販売実施中!

理想的な持続可能社会

江戸時代の

庶民の生活について考えよう

江戸時代の日本の人口は最大で約三千万人だったといわれています。

幕府のあった江戸の人口は200万人ぐらいと推測され、当時でも世界有数の大都市でした。

衣食住の順に様子をみていきたいと思います。

衣服について

庶民は主に綿や麻を使用していました、絹は高級品で上流階級しか使うことができませんでした。もちろんすべてが天然素材です。

着物はどのように使われていったのでしょうか。

江戸時代は呉服屋で新品の反物を販売し、富裕層がその反物を買ひ、仕立屋で仕立てて着用していました。そして富裕層がその着物に飽きたら古着屋に売ります。その古着を古着屋とか古着の行商から庶民が買います。大人が古着すと子ども用に仕立て直しをして子どもが着ます。また、兄弟でも使いまわしをしていました。さらに、下着にしたり、おしめや雑巾等になり、十分使って燃料となります。最後は灰として肥料などに役立てられました。このように、使いきってから肥料としてリサイクルされていました。けっしてゴミとして衣服が捨てられることはなかったのです。

食の様子

スーパーがなかったこの時代にどうやって食料等の生活必需品を調達したのでしょうか。

その答えは行商人です。次のような行商人がいて、生活に必要なものが手に入りました。

【行商人の例】

蕎麦屋、魚売り、干物売り、眼鏡売り、

小間物売り(櫛、かんざし、紅おしろい、キセル等)、

古着売り、下駄売り、夏バテ防止に琵琶湯売り等

また、冷蔵庫がなくても生け簀で新鮮な魚を売っていたので、常に活きのいい魚を食べることができました。

このように、必要な時に必要なものを手に入れていたので備蓄の必要はなかったのです。



住まいの様子

住居の狭さを工夫で広くしていました。

庶民の多くは長屋で6畳1間での暮らしでした。現在のよ
うに、居間、寝室、応接間のように別々にあるのではなく、
すべて1間で用が足りていました。

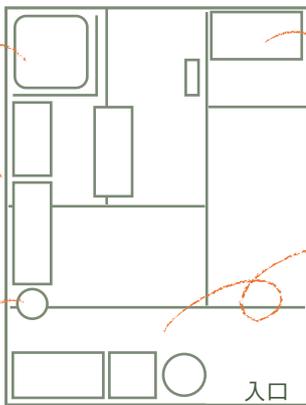
ベッドの代わりに畳んで収納できる布団、重ねてまとめる
ことのできる膳を使って食事をし、終わったら折りたた
み壁にたてかけておきました。衣類は風呂敷に包んで、布
団と一緒に隅に置き枕屏風というパーテーションで隠して
片づけることによって部屋の中はすっきりしていました。
他に三角だな、壁釘等もあり、上手に収納していました。



布団などは
まとめて部屋の
すみ
隅に

たんす
しよき
箆笥や食器を
しまう棚など

あんどん
行灯



つくえ
机

水がめや
かまどなど

入口

衛生状況

廃棄物の処分

着る物、履く物、家財道具、建物すべてが天然素材で土
に還るものでできていました。

それらが廃棄物となったら薪のかわりとなり、暖をとつ
たり、料理する火として利用されていました。

燃やしたあとの灰は、灰買いの行商人が各家庭を回って
仲買をしていました。

燃やした時にCO₂は発生しますが、もともと自然素材か
らできているので、素材が吸収したCO₂が発生しているだ
けで、新たにCO₂を発生させているわけではありません。

このように、カーボンニュートラル(豆知識参照)の生活
をしていました。

灰の利用方法

畑の肥料、あく抜き、洗剤として利用、クスリ
として利用、切り傷やすり傷の止血剤として利
用、陶芸の仕上げ用としても利用していました。



灰買いの行商人

豆知識

カーボンオフセット

市民、企業等が、①自らの温室効果ガスの排出
量を認識し、②主体的にこれを削減する努力を行
うとともに、③削減が困難な部分の排出量を把握
し、④他の場所で実現した温室効果ガスの排出削
減・吸収量等(クレジット)の購入、他の場所で
排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動
の実施等により、③の排出量の全部又は一部を埋
め合わせることをいいます。

カーボンニュートラル

植物は、太陽エネルギーを利用して光合成を
おこなっています。それは、大気に含まれてい
るCO₂を体内に取り込み成長しています。

その植物を燃やすと光合成で取り込んだCO₂を
大気中に放出することになりますが、そのCO₂は
もともと、大気中に存在していたものだからCO₂
の収支はゼロ(ニュートラル)であるという考え
方をいいます。

大便、小便の処理

長屋住まいで雪隠(せっちん)とよばれる共同便所があり、そこにたまった大便小便は下肥業者が買い求めて農村に運び、落ち葉と混ぜて下肥にします。その下肥はやせた土を豊かな土にしました。

都市の人にとっては臭いものがなくなり、お金が手に入り、農民は肥料を得られるので一石二鳥というわけです。



物流

現代はトラック、鉄道が主流ですが、昔はどうやって大量の物資を運んでいたのでしょうか。

答えは船です。水には浮力がありそれを利用した船で物資を運んでいたのです。

江戸時代には、日本中に港が築かれていて航海路も整備されていました。日本海側の酒田から北上して青森を廻り太平洋側から江戸に入る東廻り航路や、酒田から日本海を南西に進み下関をまわり、瀬戸内海経由で大阪に入る西廻りの航路が主なものです。また、江戸と大阪を結ぶ南海路は、樽廻船や菱垣廻船といった大型船が大量に物資を運んでいました。

また、都市には水路が網の目のようにひかれていて河舟で運ばれていました。そして、物によって荷揚げする場所が決まっています。魚なら魚河岸、材木なら材木河岸と呼ばれていました。

風呂について

風呂は今のよう各戸にあるわけではなく、湯屋とよばれる銭湯が主流でした。

木でできた家屋を火事から防ぐということもあり、庶民の家には風呂はありませんでした。

武士階級でもよほど身分の高い武士以外は、庶民と同様に風呂はありませんでした。

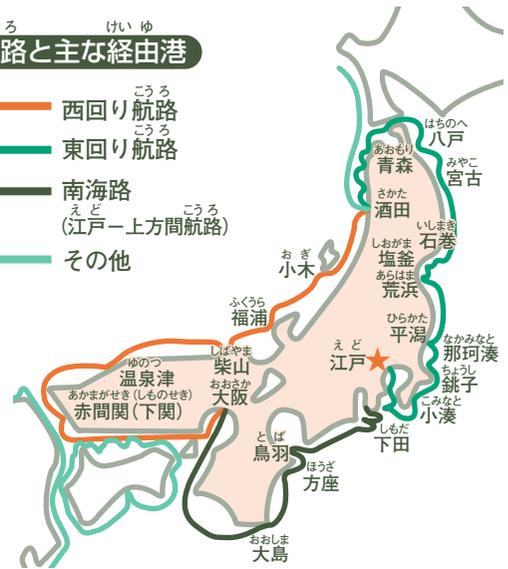
共同の風呂は各戸でわかつより効率的であり、エネルギーのむだが少ないという利点もありました。

湯屋の二階には囲碁などを楽しむこともでき男たちの社交の場でありました。

せっけんやシャンプーのかわりには、灰や昆布などの自然なものが使われていたので排水が汚染されることはありませんでした。

航路と主な経由港

- 西回り航路
- 東回り航路
- 南海路(江戸-上方航路)
- その他



江戸庶民はヒートアイランド現象をしっていた?

ヒートアイランド現象を起こさないために道路の石畳化をしませんでした。当時の築城技術があれば、道を石畳にして馬や馬車のはしりやすくすることも可能でしたが、石畳化で都市に熱気をためることはしませんでした。

庶民はエアコンがなくても、車がなくても、このように、自然とうまく共生して快適な生活をおくっていました。

私たちのできること

江戸の生活を参考にし、できるだけ自然素材のものをを使う。

もったいない精神を持ち、ものを大切にする。

自然をうまく利用するとともに大切に保護することにも努める。

みんなで共同利用するなど助け合うことの大切さ知り実践する。

エコPIL NEWS



自然木を使ったダックスフントづくり

自然の木を使った工作教室。手乗りサイズのダックスフントを作ります。

日時 **7月21日(月・祝)** 11:20~11:50、13:20~13:50

対象 3歳~12歳 親子参加OK(小学校低学年以下は保護者同伴)

定員 各20名(先着順) 費用 800円

貝がらを使った工作教室

貝がらを使って「一輪ざし」を作ります。

日時 **7月31日(木)** 13:30~15:30

対象 小中学生
親子参加OK(小学校低学年以下は保護者同伴)

定員 25名 費用 500円



自然観察会とネイチャークラフト教室

白川公園で自然観察を行なった後、木の実や竹などを使ったクラフトづくりにチャレンジします。

日時 **8月3日(日)、10日(日)** 10:00~14:30

対象 小学生(低学年は保護者同伴)

定員 各20名(先着順)

費用 300円



楽しい工作色々あるよ!
みんなで参加してね!

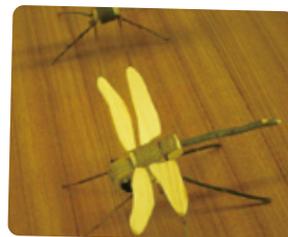
自然木を使ったトンボづくり

自然の木を使った工作教室。かわいいトンボを作ります。

日時 **8月17日(日)** 11:20~11:50、13:20~13:50

対象 3歳~12歳 親子参加OK(小学校低学年以下は保護者同伴)

定員 各20名(先着順) 費用 500円



牛乳パックで手すきはがきづくり

飲み終わった牛乳パックを使って、世界に1つだけのオリジナル手すきはがきを作ります。

日時 **8月19日(火)**
13:30~14:30、15:00~16:00

対象 小学生

定員 各10名(先着順) 費用 無料



エコ・クッキング教室

エコ・クッキングとは、環境のことを考えて買い物、料理、片付けをすることです。当日は、エネルギーのことを考え、ムダの少ない料理方法を学んでいただきます。毎日ご家庭で続けられるエコ・クッキング、ぜひ始めてみませんか。

- 日時 ① **8月26日(火)** 10:30~13:30 **親子向け**
 ② **8月29日(金)** 10:30~13:30 **親子向け**
 ③ **9月9日(火)** 10:30~13:30 **大人向け**

- 場所 **今池ガスビル4階**(千種区今池1-8-8)
 対象 ①②小学生(保護者同伴)、③18歳以上
 定員 ①②抽選14組、③抽選28人
 申込み締切:8月12日(火) 必着
 費用 1人500円
 講師 東邦ガス料理教室講師



エコパルなごやの メールマガジン



「エコパル通信」の お知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録されます。

ウェブサイトはこちらから!

エコパルなごや

検索

エコパルなごやでリユース家具の展示・販売実施中!

館内でリユース家具の展示・販売を実施しています。販売は入札で行い、展示・入札期間は毎月1日頃から20日(休館日の場合は、その前日)午前11時まで。
<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/bunbetsu/kagu.html>



マンスリー企画展示



企業やNPOの環境問題に関する取り組みを紹介する展示コーナーです。月ごとに展示内容が変わりますので、毎月様々な展示をお楽しみいただけます。

7月 テーマ 「剪定木を使った虫達」

出展者 もくもく楽舎 竹ちゃん工房

内容 公園や街路樹の剪定枝を材料に様々な昆虫を作成し、展示します。「フンコロガシ」や「アリとキリギリス」を中心に、多種多様な作品が並びます。

8月 テーマ 「スーパーマーケットでの環境にやさしいお買い物」

出展者 ユニグループ・ホールディングス株式会社

内容 普段のお買いものを「環境にやさしいお買い物」に変えてみよう!

9月 テーマ 「ESDってなんだろう?」

出展者 ESDユネスコ世界会議あいちなごや支援実行委員会

内容 ESDと今年11月に開催されるESDユネスコ世界会議についてパネル展示でわかりやすく紹介します。

名古屋市環境学習センター エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
 伏見ライブプラザ13階(地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅6番出口徒歩5分)
 ■開館時間/午前9時30分~午後5時 ■入館料/無料
 ■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
 年末年始(12月29日~1月3日)

お問い合わせ TEL 052-223-1066 FAX 052-223-4199

<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/>

E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

この情報誌は、古紙/リサイクル配合率70%・白色度70%の再生紙を使用しています。

